

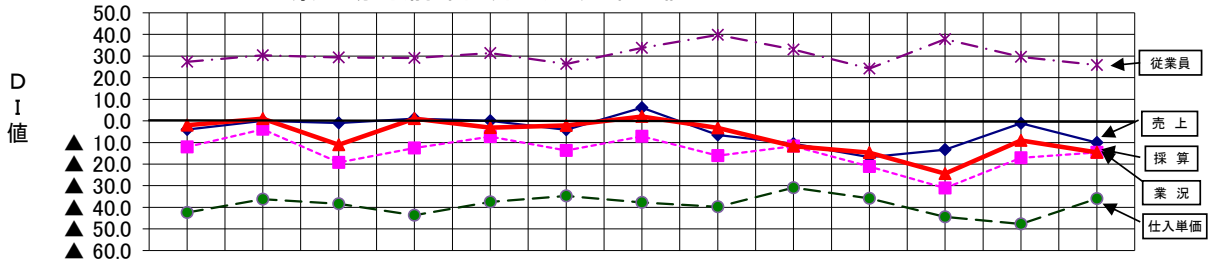
早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 5月分

【5月の概要】売上は後退の動き、先行きは依然として慎重な見通し

4月の業況判断に比べると、売上DI、業況DIともにマイナス幅が増加し、後退の動きを示している。一方、採算DI、仕入単価DI、従業員DIともにマイナス幅が減少し改善傾向となった。ゴールデンウィークにより、飲食業では好調の声が聞かれたが、建設業などでは稼働日数の減少による売上減につながった。

先行きについては、4月に比べ採算DI、業況DIは依然マイナスではあるものの改善傾向を示した。また、売上DIはマイナスとなり、仕入単価DIもマイナス傾向を示しており、原材料費の高止まりの影響が続き、依然として慎重な見通し。

景気動向(前年同月比)全産業DI値 (平成30年5月～令和元年5月)



	平成30年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	令和元年 5月
◆ 売上	▲ 4.0	0.0	▲ 1.0	1.0	0.0	▲ 4.2	6.1	▲ 6.5	▲ 10.6	▲ 16.8	▲ 13.3	▲ 1.1	▲ 10.1
■ 採算	▲ 12.1	▲ 3.9	▲ 19.2	▲ 12.6	▲ 7.3	▲ 13.7	▲ 7.1	▲ 16.1	▲ 11.7	▲ 21.1	▲ 31.1	▲ 17.1	▲ 14.6
▲ 業況	▲ 2.0	1.0	▲ 11.1	1.0	▲ 3.1	▲ 2.1	2.0	▲ 3.2	▲ 11.7	▲ 14.7	▲ 24.4	▲ 9.1	▲ 14.6
● 仕入単価	▲ 42.4	▲ 36.3	▲ 38.4	▲ 43.7	▲ 37.5	▲ 34.7	▲ 37.8	▲ 39.8	▲ 30.9	▲ 35.8	▲ 44.4	▲ 47.7	▲ 36.0
* 従業員	27.3	30.4	29.3	29.1	31.3	26.3	33.7	39.8	33.0	24.2	37.8	29.6	25.8

売上DIは9.0ポイントのマイナスとなったが、採算DIは2.5ポイントマイナス幅が減少した。業況DIは5.5ポイントのマイナス、仕入単価DIは11.7ポイントのプラス、従業員DIは3.8ポイント減少した。

全産業平均DI - 向こう3か月間の先行き見通し

調査月	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
3月	1.1	▲ 11.1	▲ 14.4	▲ 41.1	35.6
4月	3.4	▲ 9.1	▲ 11.4	▲ 40.9	37.5
5月	1.1	▲ 5.6	▲ 9.0	▲ 41.6	33.7

先行きは、売上DIが2.3ポイントのマイナス、採算DIは3.5ポイント、業況DIは2.4ポイントのプラス。仕入単価DIは0.7ポイントのマイナス、従業員DIは3.8ポイント改善した。

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	電機工事	ゴールデンウィークで稼働日数が少なかったため、売上、採算とも良くなかった。
	管工事	建設業従事者の高齢化・減少が続いており、技術者及び職人が不足している。
製造業	機械	中国を中心としたアジアからの受注減少に加え、原材料費、物流費が上昇している。
	食料品	包装資材、物流費、人件費、主要原料とも上がっており価格転嫁が追いつかない。
卸売業	機械部品	顧客の設備投資により、今夏までは前年並みかそれ以上の売上が見込めるが、以降は不透明である。
	木製品	海外販売業者が輸入材の価格を上げた影響を受け、仕入価格が上昇している。
小売業	家具・日用雑貨	売上が厳しい状況の中、ようやく粗利益率が向上している。ただし、前年と比較すると粗利は明らかに減少している。
サービス業	運輸	運賃改定により売上増を見込むが、協力会社からの単価引き上げ要請、稼働日数の減や軽油等の上昇により収益増は厳しい状況。
	飲食	ゴールデンウィークは好調だったが、今後それに並ぶような大きなプラス要素が見当たらない。また週末のアルバイト、平日の短時間のパートの確保ができていない。
	タクシー	売上は昨秋から回復の兆しが見えず、むしろ減少傾向にある。ゴールデンウィークは乗客が減少した。人件費の上昇などにより固定費が高止まりしており、収益が減少している。